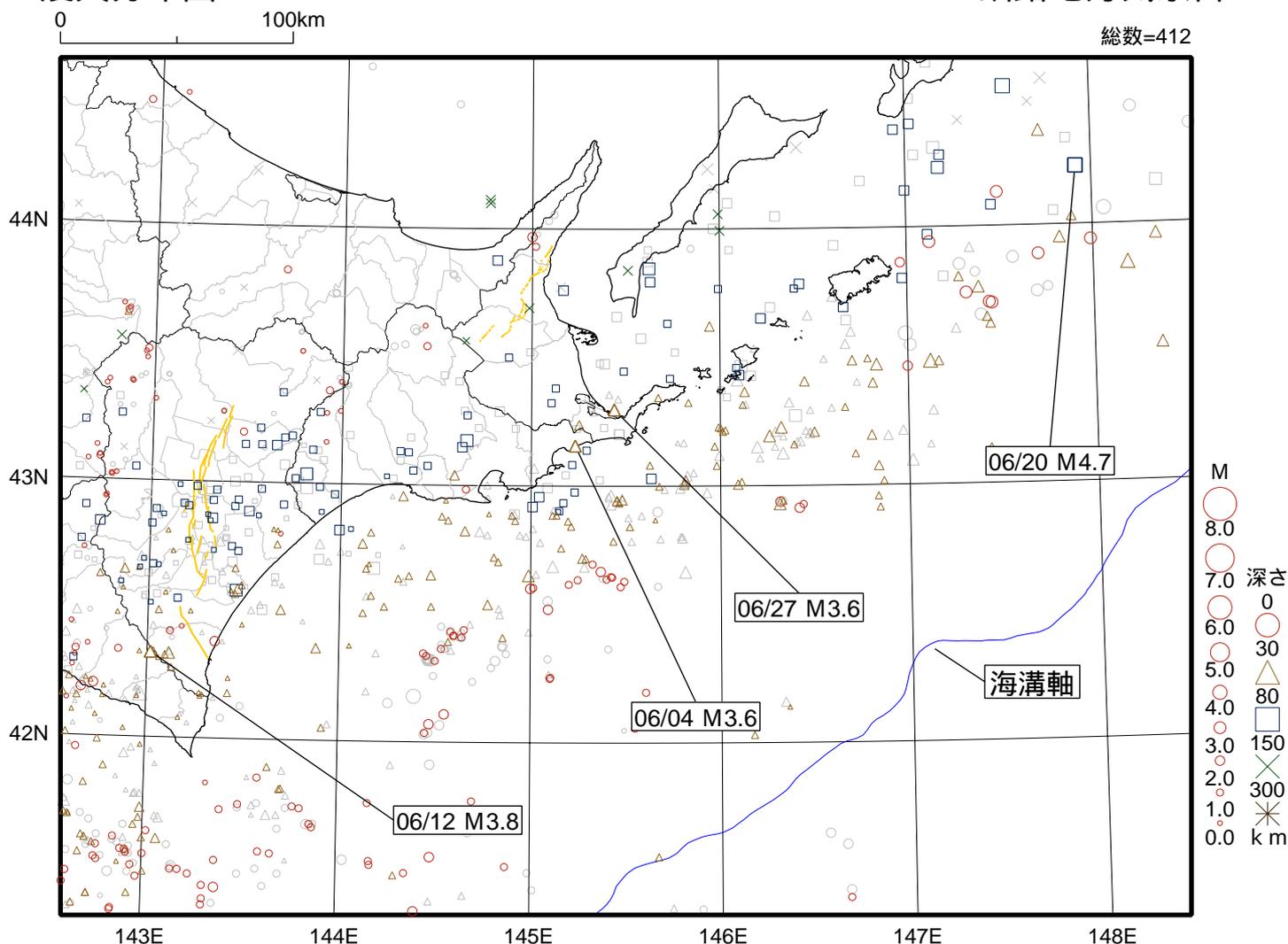


釧路・根室・十勝地方の地震活動図

2022年6月1日～2022年6月30日

震央分布図

釧路地方気象台



地震概況（2022年6月）

この期間、釧路・根室・十勝地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は6回（5月は7回）で主な地震は次のとおりです（詳細は「釧路・根室・十勝地方で震度1以上を観測した地震の表」を参照）。

1日10時19分、日高地方西部の地震(M4.3、深さ102km、震央分布図の範囲外)により、帯広市、上士幌町、本別町、浦幌町で震度2を観測したほか、釧路・十勝地方で震度1を観測しました。

10日11時14分、浦河沖の地震(M4.9、深さ67km、震央分布図の範囲外)により、帯広市、幕別町、浦幌町、広尾町で震度2を観測したほか、釧路・根室・十勝地方で震度1を観測しました。

27日13時57分、根室地方南部の地震(M3.6、深さ78km)により、浜中町、根室市で震度2を観測したほか、標茶町、標津町、別海町で震度1を観測しました。

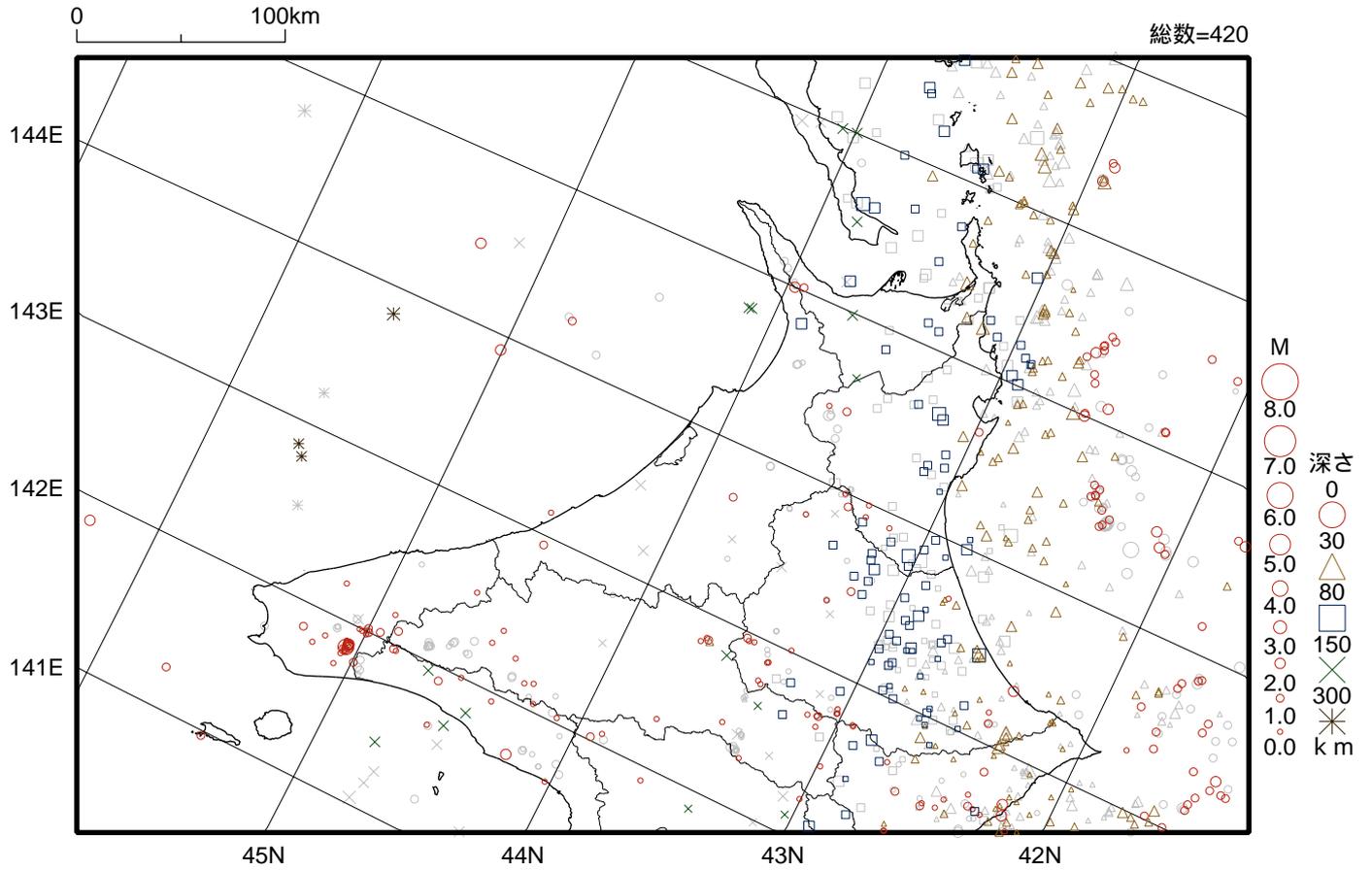
この活動図は、釧路地方気象台のホームページに掲載しています。

https://www.data.jma.go.jp/kushiro/bosai/earthquake/earthquake_data.html

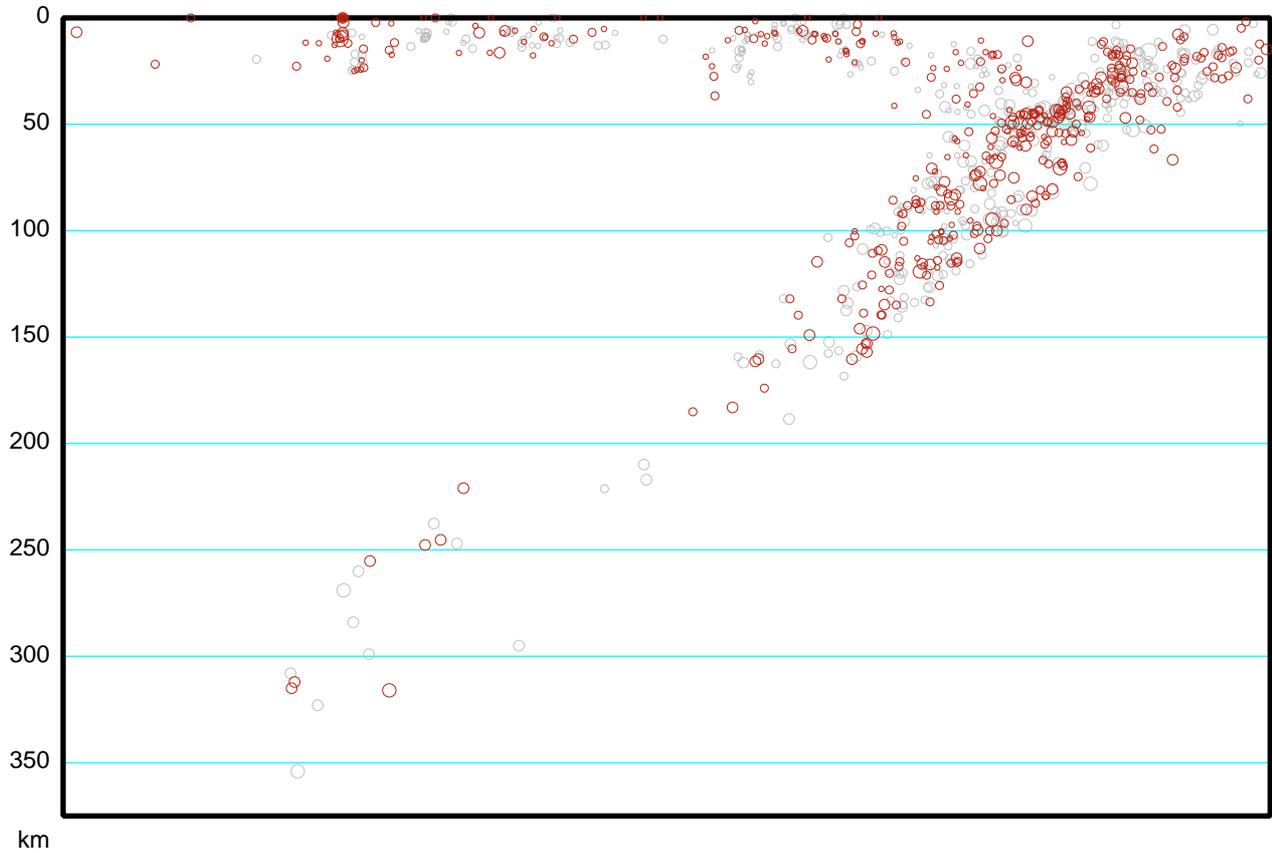
この資料に関する問い合わせ先 釧路地方気象台 TEL 0154-31-5110

2022年6月1日 ~ 2022年6月30日

震央分布図



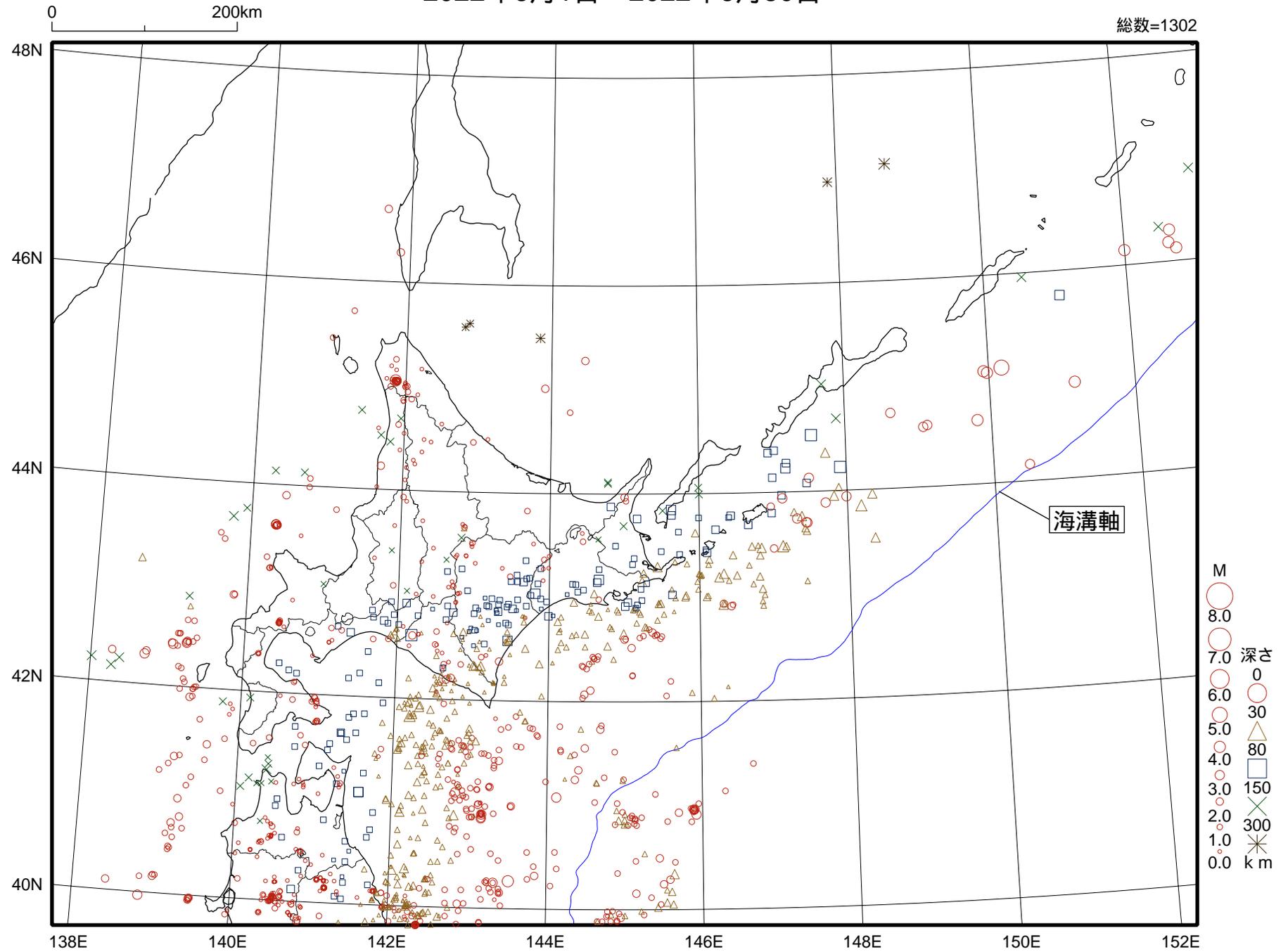
断面図



北海道の地震活動図

2022年6月1日 ~ 2022年6月30日

震央分布図



釧路・根室・十勝地方で震度1以上を観測した地震の表(2022年6月)

年月日 地方	時分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯(N)	東経(E)	深さ(km)	規模(M)
2022年 6月 1日 十勝地方	10時19分 震度2	日高地方西部 上土幌町上土幌*(18) 帯広市東4条(16) 本別町北2丁目(17)	42°36.4 N	142°11.3 E	102 km	M4.3
	震度1	本別町向陽町*(16) 浦幌町桜町*(21) 上土幌町清水谷*(06) 新得町2条*(11) 足寄町上螺湾(05) 足寄町南1条*(12)				
釧路地方	震度1	帯広市東6条*(13) 土幌町土幌*(11) 十勝清水町南4条(08) 幕別町本町*(12) 十勝池田町西1条*(14) 十勝大樹町東本通*(05) 十勝大樹町生花*(08) 白糠町西1条*(07)				
2022年 6月 4日 根室地方	19時24分 震度1	釧路地方中南部 根室市牧の内*(05) 根室市瑛瑤瑠*(05)	43°09.3 N	145°13.9 E	68 km	M3.6
2022年 6月10日 十勝地方	11時14分 震度2	浦河沖 帯広市東4条(17) 帯広市東6条*(17) 幕別町忠類錦町*(16) 浦幌町桜町*(21)	41°49.9 N	142°12.1 E	67 km	M4.9
	震度1	広尾町並木通(19) 広尾町白樺通(15) 新得町2条*(11) 音更町元町*(12) 土幌町土幌*(08) 十勝清水町南4条(13) 芽室町東2条*(13) 幕別町忠類明和(05) 十勝池田町西1条*(11) 豊頃町茂岩本町*(12) 本別町北2丁目(08) 本別町向陽町*(08) 中札内村東2条*(07) 更別村更別*(12) 十勝大樹町東本通*(14) 十勝大樹町生花*(14)				
釧路地方 根室地方	震度1 震度1	釧路市阿寒町中央*(11) 釧路市音別町中園*(13) 標津町北2条*(07) 別海町常盤(09) 根室市落石東*(06)				
2022年 6月12日 十勝地方	14時49分 震度1	日高地方東部 幕別町忠類錦町*(14) 浦幌町桜町*(11) 更別村更別*(07) 十勝大樹町東本通*(06) 十勝大樹町生花*(13)	42°19.8 N	143°01.0 E	49 km	M3.8
2022年 6月20日 根室地方	05時26分 震度1	択捉島南東沖 標津町北2条*(05) 根室市落石東*(06)	44°13.5 N	147°55.0 E	120 km	M4.7
2022年 6月27日 釧路地方 根室地方	13時57分 震度2 震度1 震度2 震度1	根室地方南部 浜中町茶内*(16) 標茶町塘路*(11) 根室市厚床*(17) 標津町北2条*(10) 別海町本別海*(08) 根室市牧の内*(08) 根室市落石東*(06) 根室市瑛瑤瑠*(07)	43°17.7 N	145°26.2 E	78 km	M3.6

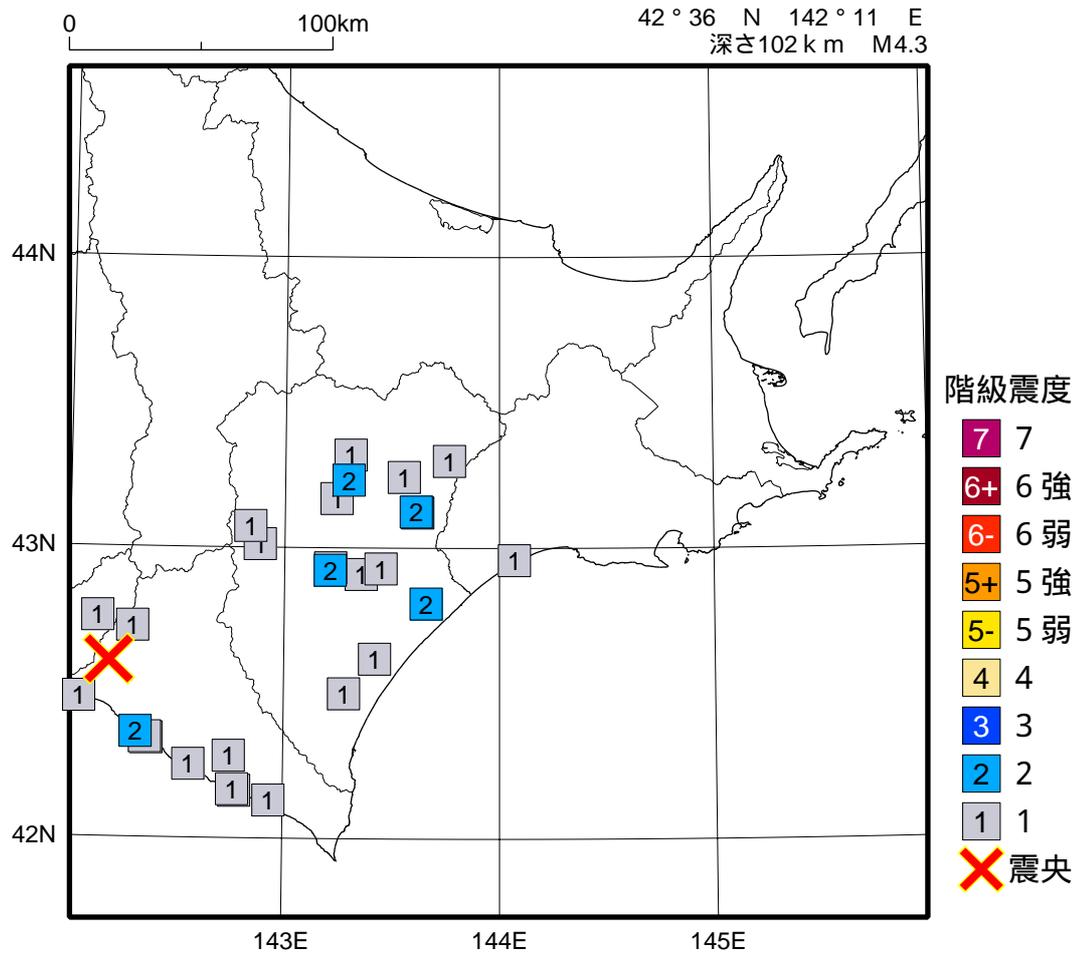
*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

()内の数値は0.1単位の詳細な震度(計測震度)の小数点を省略して表しています。

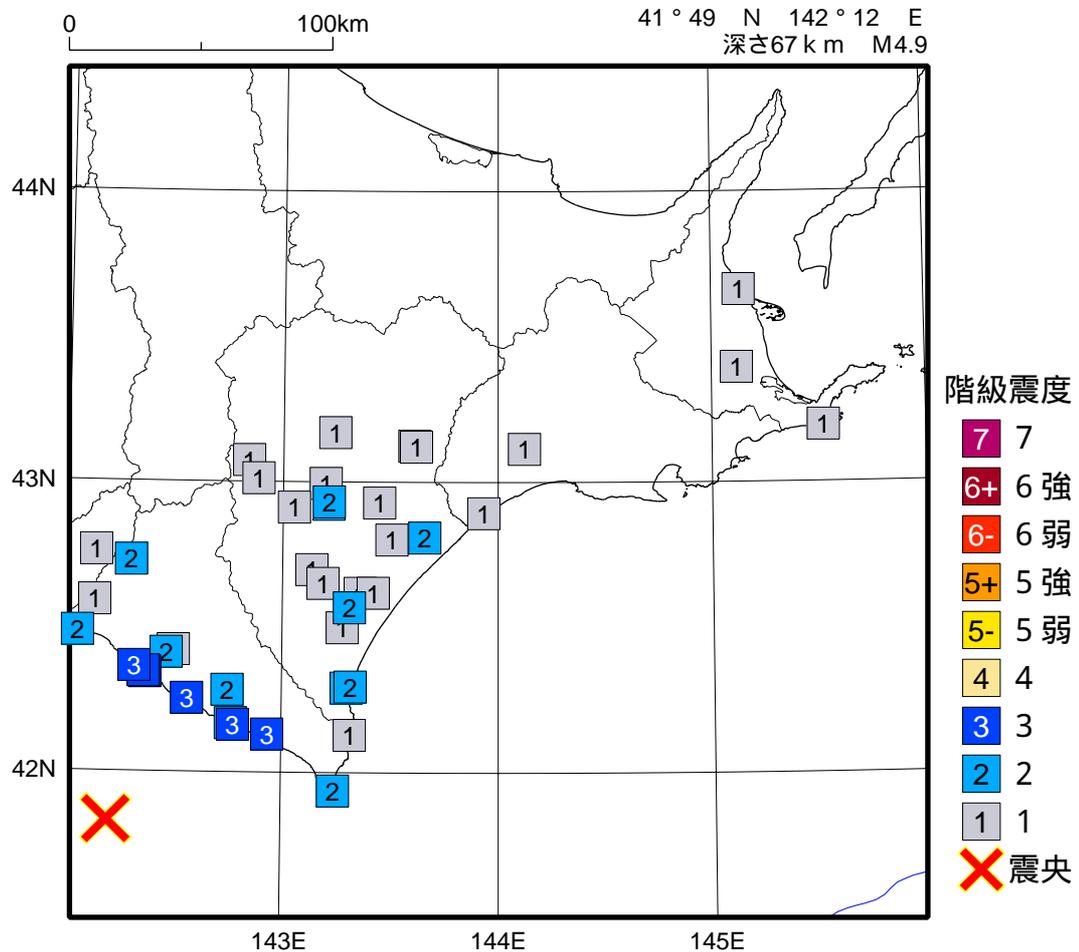
計測震度と震度階級の関係

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

2022年 6月 1日10時19分 日高地方西部の地震の震度分布図



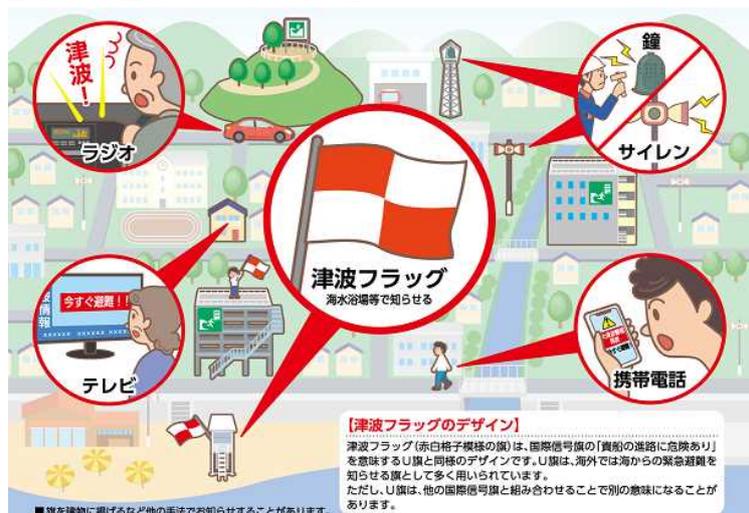
2022年 6月10日11時14分 浦河沖の地震の震度分布図



【防災メモ】

～「津波フラッグ」による津波警報等の視覚的伝達～

津波警報等（大津波警報・津波警報・津波注意報）は、テレビやラジオ、サイレン・鐘、携帯電話等、様々な手段で伝達されますが、令和2年夏から「津波フラッグ」による視覚的伝達が行われるようになりました。「津波フラッグ」は、聴覚障害がある方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表を視覚的にお知らせするものです。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難してください。



●津波フラッグのデザイン

津波フラッグは、視認性や色覚の多様性を重視した上で外国人へも配慮し、海からの緊急避難を知らせる意味で海外でも用いられている「赤と白の格子模様」の旗としています。この旗は、国際信号旗の「貴船の進路に危険あり」を意味するU旗と同様のデザインです（ただし、U旗は他の国際信号旗と組み合わせることで別の意味になることがあります）。

●利用上の注意点

- 津波フラッグが用いられる場所は、海水浴やマリンスポーツなどを行う人がいる海水浴場等の海岸です。
- 津波フラッグの掲示は、砂浜や海水浴場の監視台等においてライフセーバーや監視員が振る、監視台や海岸沿いの施設に掲示するなどの方法が用いられます。
- 津波フラッグの伝達実施者の安全が確保されない場合、津波フラッグの掲出は行われません。
- 全国的には、海水浴場での津波フラッグの導入は少しずつ広がりつつある状況ですが、津波フラッグが導入されていない海水浴場や、運用されない時間や期間もあります。
- 海水浴場で強い揺れや弱くても長い揺れを感じた後は、津波フラッグを見かけずとも、速やかに海辺から離れ、より高い安全な場所へ避難してください。

●参考 URL（気象庁 WEB サイト）

- 津波フラッグの解説：

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html

- 津波フラッグに関するオンライン講演会（令和5年3月末まで（予定））：

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/tsunami_bosai/lecture.html